

第34回日本緑内障学会

The 34th Meeting of
Japan Glaucoma Society

ZEISS

イブニングセミナー

5

Glaucoma Solution Check and Treat

2023/ 9/9 土

時間 / 17:10-18:00

会場 / 虎ノ門ヒルズフォーラム
虎ノ門ホールA4 第3会場

座長

たじみ岩瀬眼科
岩瀬 愛子 先生



緑内障診断では、視野検査による機能とOCT検査による構造の把握が重要と言われており、各検査内容は日々アップデートされています。視野検査については、早期の視野欠損を把握すべく測定配置が注目され、初期の緑内障における視野欠損が出やすい好発部位を検査する必要があります。また、OCTについては、フロア効果によるOCTの限界がある一方でOCTAによる進行把握の可能性が挙げられます。治療の観点では、これらの検査により、緑内障の進行度や病変の状態を把握し、最適な手法を選択することが必要です。その中でも近年注目を浴びている治療法であるSLTは、その位置づけとタイミングについて悩まれている先生もいらっしゃるのではないのでしょうか。本セミナーでは、野呂先生から24-2C SITA Standardの臨床研究結果を、齋藤先生から緑内障におけるOCTAの活用方法など、最新の情報をご紹介します。また、内藤先生からはZEISSが新たにリリースする「Selective」を含むZEISSレーザーの特徴についてお話いただけます。本セミナー「Glaucoma Solution」が、明日からの診療のお役に立つならばこの上ない喜びです。

演者

東京慈恵会医科大学/
麻生総合病院
野呂 隆彦 先生



24-2C SITA Standardの
可能性について

演者

東京大学
齋藤 瞳 先生



OCTAによる緑内障診断の
可能性について

演者

グレース眼科クリニック
内藤 知子 先生



Selectiveオプション(ZEISS SLT)の
可能性について

第34回日本緑内障学会への参加には、
参加登録が必要です。
7月31日(月)まで、早期割引を実施しております。



共催

第34回日本緑内障学会 / カールツァイスメディテック株式会社

SE23G03-02-OphKI-v01